

標識放流からみたアカガレイの移動 (要約)*

内野 憲・藤田眞吾・戸嶋 孝

(京都府立海洋センター)

研究の目的

アカガレイ *Hippoglossoides dubius* (SCHMIDT) はズワイガニ *Chionoecetes opilio* に次ぐ機船底曳網漁業の重要対象魚種であるが、その漁獲量は1975年以後指数関数的に減少し、資源管理の実施が早急に必要とされている。資源管理は、管理しようとする資源の生活の範囲、すなわち資源の変動単位を対象として実施しなければ有効性をもたない。

日本海海域におけるアカガレイの生息域は、サハリン西岸から沿海州、朝鮮半島東岸の水深170~900m域の広範囲にわたるとされている。しかし、地域群が存在するのか、存在するとすればどの範囲なのか、どのような移動・回遊をしているのかなどについての知見は少なく、新潟県沿岸と福井県沿岸海域で実施した釣鉤切断法による標識放流試験結果報告(尾形 1958、1963)、漁獲統計資料と卵・稚仔魚採集結果から検討した山陰沿岸海域のアカガレイについての報告(永澤 1993)、漁獲統計資料を整理した報告(石川水産総合センター 1994)があるにすぎない。

本研究は、知見の少ない、京都府沖合海域におけるアカガレイの生活の範囲と雌産卵群の移動の実態について、標識放流の再捕結果から明らかにしようとするものである。

要約

1994年4月に、京都府沖合海域の水深250mにおいて、体長15~38cmのアカガレイ730個体を標識放流し、1997年3月31日までに68個体を再捕した。その結果を検討し、京都府沖合海域に生息するアカガレイの生活の範囲は、水平的には京都府沖合海域から隠岐諸島周辺海域まで、垂直的には水深200~700m前後海域までの広範囲であると推察した。また、9~10月に京都府沖合海域の水深300m以深海域に生息するアカガレイ雌産卵群は、2~3月にかけて、産卵のために、その生息域を順次浅場に移行させていると推察した。

* 平成8年度日本海区底魚資源研究連絡会議では、平成6年4月22日と平成7年4月19日に京都府沖合海域で実施した2標識放流群の平成8年9月30日までの再捕結果に基づき、アカガレイの移動に関する新たな知見を報告した。

報告会以後も標識放流は実施された。同時に、会議で報告した2放流群の再捕報告は会議後も寄せられてきている。また、著者らは、平成6年4月22日放流群の再捕結果に基づき、論文「標識放流からみたアカガレイの移動(内野 憲・藤田眞吾・戸嶋 孝 1997: 京都府立海洋センター研究報告, 第19号, 7-13.)」を発表した。そこで、本報告書には、論文「標識放流からみたアカガレイの移動」の要約とともに、京都府立海洋センターがこの間実施してきたアカガレイの標識放流の実施概要と、平成9年5月31日付けの再捕結果の概要を末尾に掲載し、報告にかえることとする。

文献

石川県水産総合センター・福井県水産試験場・兵庫県但馬水産事務所試験研究室・鳥取県水産試験場・島根県水産試験場（1994）重要カレイ類の生態と資源管理に関する研究。水産業関係地域重要新技術開発促進事業総合報告書。

永澤 亨（1993）山陰沿岸におけるアカガレイの産卵場。漁業資源研究会議北日本底魚部会報告，（26）19-25。

尾形哲雄（1958）日本海におけるスケトウダラ（アカガレイ・その他の底棲魚類を含む）の標識放流調査－I。日水研年報，（4）165-178。

尾形哲雄（1963）日本海におけるスケトウダラ（アカガレイその他の底棲魚類を含む）の標識放流調査。日水研報告，（11）47-52。

内野 憲・山崎 淳・藤田真吾・戸嶋 孝（1995）京都府沖合域のアカガレイの生態に関する研究－II 主産卵期・成熟体長。京都海セ研報，（18）41-45。

資料

表1 京都府沖合域におけるアカガレイ標識放流の実施概要と再捕結果の概要
（再捕結果は1997・5・31現在で集約）

放流年月日	再捕場所	標識 の色	放流 個体数	放流魚体 (体長cm)	再捕 個体数	再捕率 (%)	再捕場所(放流域からの直線距離・マイル)				
							10以下	10~30	30~60	60以上	不明
1994・4・22	網野沖合250m	黄	730	15~38	71	9.7	25	27	12	3	4
1995・4・19	間人沖合250m	青	990	16~40	48	4.8	24	11	4	4	5
1996・1~3	浦島礁東230m	黄	161	9~36	7	4.3	4		1	2	
1996・4・23	網野沖合250m	ピンク	768	13~38	43	5.6	15	11	7	3	7
1996・5・15~17	浦島礁東230m	緑	152	7~33	5	3.3	4				1
1997・4・22	浦島礁東204~223m	緑	439	14~34	7	1.6	6				1

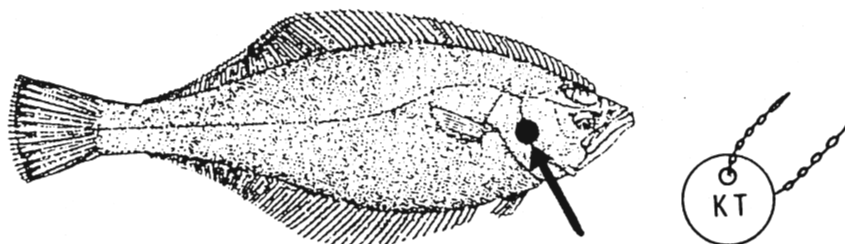
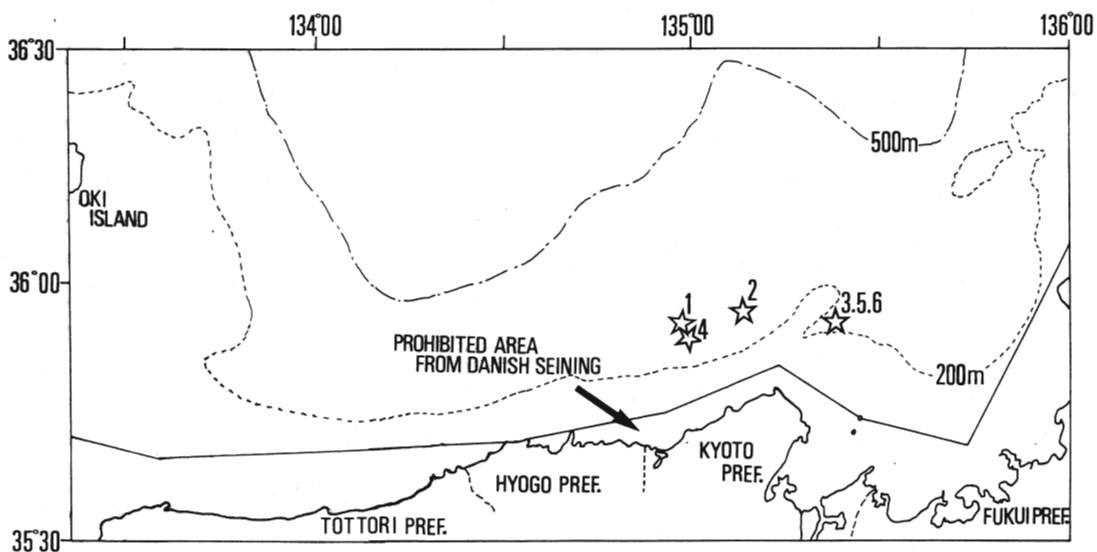


図1 使用した標識と装着部位



- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 : 平成6年4月22日 (730個体放流) | 2 : 平成7年4月19日 (990個体放流) |
| 3 : 平成8年1月~3月 (161個体放流) | 4 : 平成8年4月23日 (768個体放流) |
| 5 : 平成8年5月 (152個体放流) | 6 : 平成9年4月22日 (439個体放流) |

図2 標識放流の実施場所